

# “20年をふりかえる”

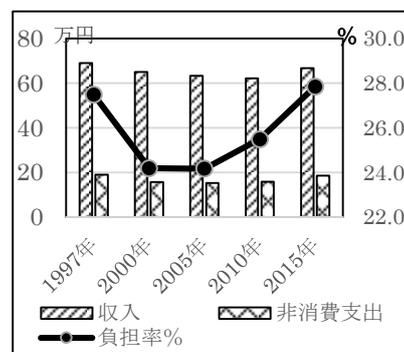
## 「ユーコープ かながわ県本部」のくらし

1996年に家計簿モニター登録が始まり、20年が経ちました。「日本生協組合連合会」では、20年をふりかえった冊子を作成しました。「ユーコープ かながわ県本部」も1997年から2015年をふりかえり、私たちのくらしの変化を見てみましょう！

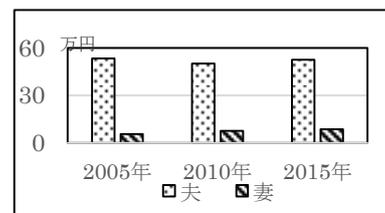
### 1. 収入と非消費支出の変化

- ①収入は2010年まで、減っていて、リーマンショック後の2010年は最低となり、1997年より68,500円も減っています。その後は増えていき、2015年は2010年より45,738円増えています。
- ②非消費支出を見ると、2015年は収入の多かった1997年と比べると、3,860円少ないだけでした。しかし、収入に対する非消費支出の負担率は20年間で、2015年が1番大きくて、28.3%です。2010年より約3%も大きくなっています。
- ③2000年の「介護保険制度」導入により「社会保険計」の割合が大きくなっていて、非消費支出の中での割合を見ると、1997年は27.7%、2005年は44.4%と増えています。2015年は41.4%でした。
- ④「私的保険計」は2000年の30.7%から減ってきて、2015年は20.5%になっています。保険の見直しをしたのでしょうか？

収入と非消費支出とその負担率



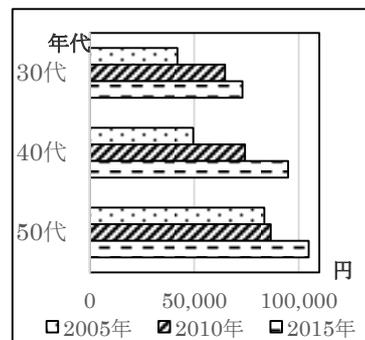
夫と妻の収入



### 2. 夫と妻の収入の変化

- ①夫と妻の収入を見ると、夫の収入は2005年から減っています。反面、妻の収入は増えていて、2015年は10年前の2005年より、約45,000円も増えています。特に30代・40代の妻の収入が増えています。総収入の中での妻の収入の割合を見ると、2005年は5.95%でしたが、2010年は12.1%、2015年は15.09%と増えています。妻の収入増が家計を補っているようです。

年代別 妻の収入



### 3. 消費支出の変化

- ①消費支出は1997年から減りましたが、2015年は少し増えました。
- ②収入に占める消費支出の割合を見ると、2000年から減り、2015年は2000年と比べると、約10%も減っています。買い控えがすすんだのでしょうか？
- ③「食費」は1997年から消費支出の16~17%で変わりませんが、「教育費」、「交際費」、「職業主婦費」は減っています。
- ④1番増えた費目は「通信費」で、統計を取り始めた2002年より2015年は約7,000円(月)増え、消費支出のランキングは11位から4位になりました。

収入と消費支出と収入に占める消費支出の割合

